

株式会社エムウェーブ第21期事業報告書

自：平成29年4月1日

至：平成30年3月31日

1 事業の概要

(1) 事業の経過及びその成果

地域の発展と振興のため積極的な営業活動を展開するとともに、「エムウェーブ」及び「ビッグハット」を長野の貴重な財産として情報発信を行い、関係機関との有機的な連携をはじめ、良質なサービスの提供、施設利用の一層の促進、運営面での更なる効率化、合理化に努めてまいりました。

当期の経営成績につきましては、イベントの減少などで、通期での売上高は、6億2,109万円と前期より6,189万円減少しました。

販売費及び一般管理に係る営業費用については、5億9,043万円となりました。これは、人件費や備品消耗品費の減少などにより、前期と比較して1,761万円減少いたしました。

なお、スケートの振興発展のため、引き続き「ながの夢応援基金」へ1,000万円を寄付しております。

最終的に、当期の営業外損益等を含めた税引前当期純利益は、前期と比較して854万円減の1,992万円となりました。

(2) 施設部門別実績

【エムウェーブ部門】

① 施設見学及び売店部門

「長野オリンピックミュージアム」は、アスリートからの借用などによる展示物の充実や展示ケースの確保を進めたほか、平成30年1月から3月にかけて秩父宮記念スポーツ博物館の協力を得て同博物館長野巡回展を開催した結果、見学者は13,342人で5,122人の大幅増となりました。

売店の売上は、東京オリンピック・パラリンピックライセンス商品やオリンピックミュージアムコレクションの販売などにより、29万円減の412万円となりました。

② 貸館部門

貸館営業につきましては、継続的にご利用いただいている顧客への営業も含め、ビッグハットと営業面での連携を図りつつ、コンサート、展示会など大規模イベント等の誘致・開催に努めました。イベント件数は減少したものの、ゲネプロ2件、コンサート1件があり、売上は9,475万円と前期と比較して479万円の増加となりました。入館者数は前期比4万人減の233,563人でした。

③ スケート部門

スケート大会につきましては、全日本スピードスケート距離別選手権大会や平昌オリンピックスピードスケート日本代表選手選考競技会などを開催しましたが、全日本大会クラス以上の大会の減少により、売上は3,617万円で、前期と比較して959万円の減少となりました。スケート大会の入場者数は35,656人でした。

スケート入場売上は5,648万円で、前期と比較して119万円の減少となりました。無料開放を7日間実施したスケート入場者数は、NTC利用者を含め76,802人で、前期と比較して1,820人減少しました。

エムウェーブのアイススケートの営業概要は、次のとおりです。

■ 営業期間

平成29年10月1日	全日本及び競技者合宿受入
10月8日	スピードリンクオープン（一般営業開始）
10月28日	ホッケーリンクオープン
11月6日	スケート教室受入開始
平成30年3月11日	営業終了

■ 製氷日程

スピードスケートリンク	平成29年9月11日	準備開始
	9月30日	製氷終了
アイスホッケーリンク	平成29年10月3日	準備開始
	10月27日	製氷終了

■ NTC（ナショナルトレーニングセンター）

アイスリンク専有時間	379.5時間
利用選手数	延べ18,209人（うち、NTC選抜有資格者10,882人）
トレーニングルーム利用者数	延べ 3,587人

■ 無料開放（7日間）

1	平成29年10月8日（日）	
2	11月12日（日）	
3	12月3日（日）	
4	平成30年1月14日（日）	
5	2月24日（土）	氷の彫刻展同時開催
6	2月25日（日）	〃
7	3月11日（日）	

■ 市内小学校スケート教室

教室開催日	36日間
参加学校数	延べ56校
参加者数	延べ 8,013人

■ 主な競技会・イベント

1	第24回全日本スピードスケート距離別選手権大会	平成29年10月20日（金）～22日（日）
2	平昌オリンピックスピードスケート日本代表選手選考競技会	平成29年12月27日（水）～30日（土）
3	秩父宮記念スポーツ博物館全国巡回展「長野巡回展」	平成30年1月27日（土）～3月11日（日）
4	第38回全国中学校スケート大会（スピード）	平成30年2月3日（土）～2月6日（火）
5	第41回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会	平成30年2月9日（金）～11日（日）
6	第43回長野県ジュニアスピードスケート競技会・東北信大会	平成30年2月12日（月）
7	第16回エムウェーブスピードスケート競技会	平成30年2月16日（金）～18日（日）
8	第18回氷の彫刻展	平成30年2月24日（土）～25日（日）
9	第48回長野市スケート競技大会	平成30年3月10日（土）スピードスケート 11日（日）フィギュアスケート

④ その他

館内の広告看板営業収入につきましては、1件の契約獲得に伴い、59万円増の686万円となりました。

【ビッグハット部門】

① 貸館部門

貸館営業につきましては、コンサート、各種製品の展示販売会や団体の大会等様々な分野でのイベントを積極的に誘致し事業を展開しました。コンサート3件やBリーグ公式戦などがありましたが、1週間を超えるような長期の貸館がなく、売上は1億932万円と前期と比較して3,697万円の減少となりました。入館者数は1万人増の390,590人でした。

② スケート部門

スケート大会につきましては、アイスホッケーのスマイルジャパン壮行試合やパラアイスホッケーチャンピオンシップ、全中のフィギュアスケート大会が開催され、スケート大会売上は1,138万円で、前期と比較して257万円の減少となりました。大会の入場者数は14,880人でした。

スケート入場売上は271万円で、前期と比較してより93万円の減少となりました。スケート入場者は、1,861人で、同じく632人減少しました。

ビッグハットのアイススケートの営業概要は、次のとおりです。

■ 営業期間

平成29年12月11日	リンクオープン アイスホッケー・フィギュアスケート練習開始
平成30年2月25日	リンク営業終了

■ 製氷日程

平成29年11月27日	準備開始
12月10日	製氷終了

■ 主なイベント及び競技会

1	第27回ジュニア親善アイスホッケー長野大会（中学生）	平成29年12月16日（土）～17日（日）
2	スマイルジャパン壮行試合	平成29年12月21日（木）～25日（月）
3	パラアイスホッケーチャンピオンシップ	平成30年1月6日（土）～13日（土）
4	第27回ジュニア親善アイスホッケー長野大会（小学校高学年）	平成29年1月20日（土）～21日（日）
5	第27回ジュニア親善アイスホッケー長野大会（小学校低学年）	平成30年1月27日（土）～28日（日）
6	第38回全国中学校スケート大会（フィギュアスケート）	平成30年2月4日（日）～6日（火）
7	中日カップ 第54回中部日本フィギュアスケート選手権大会	平成30年2月9日（金）～13日（火）
8	第37回松澤記念アイスホッケー大会	平成30年2月23日（金）～25日（日）

(3) 営業成績及び財産状況の推移

(単位：千円)

区 分	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
売上高	93,020	503,205	477,700	427,268	411,745	342,744	360,336	368,690	226,660
当期損益 (税引後)	△9,014	△32,767	32,162	5,041	6,673	△279	8,568	6,572	18,438
1株当り	円	円	円	円	円	円	円	円	円
当期損益	△1,502.35	△5,461.1	5,360.47	840.22	1,112.14	△46.52	1,428.05	1,095.37	3,072.95
純資産	290,986	258,219	290,382	295,423	302,096	301,817	310,385	316,957	335,395
総資産	345,709	318,346	348,281	377,501	334,536	327,694	350,694	349,387	383,298

区 分	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期
売上高	626,482	643,286	628,308	648,565	677,245	627,560	644,889	663,919	639,418
当期損益 (税引後)	36,142	18,123	14,059	16,599	19,293	12,519	2,578	5,978	12,185
1株当り	円	円	円	円	円	円	円	円	円
当期損益	6,023.69	3,020.33	2,703.64	3,192.09	3,710.20	2,407.55	495.91	1,149.65	2,343.43
純資産	371,537	389,660	363,719	380,318	399,611	412,130	414,709	420,686	432,872
総資産	450,954	464,166	430,645	473,967	470,712	483,716	488,594	507,272	505,043

区 分	第19期	第20期	第21期						
売上高	674,087	682,983	621,096						
当期損益 (税引後)	13,658	16,386	12,598						
1株当り	円	円	円						
当期損益	2,626.62	3,151.22	2,422.80						
純資産	446,531	462,917	475,516						
総資産	539,002	563,713	547,772						

(注)

- 第1期は、当社設立が6月1日であり、9月30日までの4か月間です。
- 第9期から事業年度を4月1日から翌年3月31日までと変更したため、第9期は6か月間です。
- 1株当たり当期損益は、期末発行済株式の総数から算出しています。なお、発行済株式の総数については、自己株式を除いています。
- 第10期からビッグハット及び若里市民文化ホールの指定管理業務を行っています。

(4) 設備投資の状況

- ① 長野オリンピックミュージアムにオリンピックライブラリシステムを導入しました。

(5) 資金運用の状況

資産の有効な管理として、第7期から国債を購入してあります。現在、1億3,000万円分(2本)を保有しています。

(6) 会社に対処すべき継続的課題

- ① 長野オリンピックの貴重な遺産である「エムウェーブ」、「ビッグハット」を長野の財産として後世に引き継ぐとともに、長野の知名度、イメージアップ、地域振興のため、情報発信を積極的に行う。
- ② スケートをメジャーなスポーツに育て、長野をスケートの聖地とするため、スケート普及振興に対し、物心両面でのサポーターとなる。
- ③ 合理的、効率的な経営を行い、常に良質なサービスの提供と継続的な黒字経営に努める。

2 会社の現況

(1) 株式の状況

会社が発行する株式の総数	24,000株
発行済み株式の総数	6,000株 (内、自己株式 800株)
株主数	8名

株 主 名	当社への出資状況	
	持 株 数	出資比率 (%)
長野市	3,000	57.7
長野県	600	11.5
株式会社 前川製作所	800	15.4
鹿島建物総合管理 株式会社	500	9.6
株式会社 八十二銀行	160	3.1
長野信用金庫	80	1.5
長野県農業協同組合中央会	30	0.6
長野都市ガス株式会社	30	0.6

(注) 出資比率は、自己株式（800株）を控除して計算しています。

(2) 取締役及び監査役の氏名等（平成30年3月31日現在）

会社における地位	氏 名	担当または主な職業
代表取締役会長・社長	加 藤 久 雄	長野市長
専務取締役	寺 澤 正 人	株式会社エムウェーブ（常勤）
取締役	角 田 道 夫	長野県教育委員会事務局教育次長
取締役	舟 見 英 夫	株式会社八十二銀行常務取締役
取締役	樋 口 博	長野市副市長
取締役	高 橋 要	長野市商工観光部長
監査役	青 木 敏 雄	長野信用金庫専務理事
監査役	春 日 十三男	長野県農業協同組合中央会専務理事

(注) 当該事業期中の取締役及び監査役の異動は、次のとおりです。

1 就任

平成29年6月12日開催の臨時取締役会において、代表取締役会長加藤久雄氏が代表取締役社長に選任されました。

平成29年6月27日開催の第20期定時株主総会において、取締役役に角田道夫氏、舟見英夫氏及び高橋要氏が選任されました。

2 退任

平成29年6月8日付けをもって土屋龍一郎氏は取締役を辞任により退任いたしました。

(3) 従業員の状況（役員を除く。）

人 数		平均年齢	平均勤続年数
男 性	3名	46歳10月	6年10か月
女 性	5名		

(注) 上記のほか、株式会社JTB中部から1名、人材派遣会社から2名の派遣を受け運営いたしました。